



平成 27 年 3 月 16 日

各 位

会 社 名 江守グループホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 江守 清隆
(コード：9963、東証第一部)
問合せ先 常務取締役グループ管理部門担当 揚原 安麿
(TEL 0776-36-9963)

(訂正)「平成 26 年 3 月期第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部訂正について

当社は、平成 26 年 1 月 31 日に開示いたしました「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部を訂正しましたので、お知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 27 年 3 月 16 日付『平成 27 年 3 月期第 3 四半期報告書の提出』および『過年度有価証券報告書等ならびに内部統制報告書の訂正報告書の提出に関するお知らせ』にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以 上

【訂正後】



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 江守グループホールディングス株式会社

コード番号 9963 URL <http://www.emori.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 清隆

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ管理部門担当 (氏名) 揚原 安麿 TEL 0776-36-1133

四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	150,031	47.9	4,062	88.1	4,017	95.0	2,590	101.8
25年3月期第3四半期	101,443	18.4	2,159	4.8	2,060	9.1	1,283	14.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,399百万円 (391.6%) 25年3月期第3四半期 1,098百万円 (131.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	229.74	-
25年3月期第3四半期	122.32	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	85,322	20,485	24.0
25年3月期	71,664	14,420	19.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 20,447百万円 25年3月期 13,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	17.00	-	21.00	38.00
26年3月期	-	20.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	28.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	46.4	5,600	78.4	5,080	69.0	3,200	66.7	277.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）江守商事（上海）化工有限公司、海南江守置基医薬有限公司
除外 1社 （社名）THAI USUI CO., LTD.
（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	12,340,000株	25年3月期	10,500,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	8,232株	25年3月期	8,163株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	11,274,624株	25年3月期3Q	10,491,847株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による経済・金融政策への期待感から円安や株高が先行する状況が続きましたが、その後、設備投資や個人消費にも改善が見られるなど、景気が緩やかに回復する動きが見られました。一方、海外においては、新興国経済の鈍化や欧州債務問題などがあるものの、米国が回復基調にあり、中国も安定成長に移りつつあるなど、全体的には緩やかな回復傾向をたどりました。

このような状況の中、当社の主要報告セグメントである「ケミカル」セグメントでは、中国市場における食糧、金属資源の売上が引き続き連結業績を大きく牽引したほか、化学品の売上も堅調に推移した結果、大幅な増収増益となりました。「情報機器」セグメントでは、前年同四半期のようなスポットの大型ハードウェアの納入がなかったことから、減収とはなったものの、情報投資の回復を受けて相対的に利益率の高いシステム開発案件の引き合いが活発化し、検収に繋がったことから、情報セグメント全体としては増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,500億31百万円（前年同四半期比47.9%増）、営業利益は40億62百万円（同88.1%増）、経常利益は40億17百万円（同95.0%増）、四半期純利益は25億90百万円（同101.8%増）となり、当第3四半期連結累計期間終了時点で、昨年度の通期連結業績を上回る結果となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ケミカル

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,446億83百万円（同50.9%増）、セグメント利益（営業利益）は44億27百万円（同77.0%増）となりました。

中国の内需関連では、トウモロコシやアルコール、高級米など、食糧の売上が大幅に増加したほか、中国の旺盛な公共投資需要を受けて、シンガポール子会社を中継したクロム、銅、アルミニウム、精製鉄粉といった金属資源の売上も、上半期同様好調に推移しました。また、トルエンやアセトンといった化学品の売上も堅調に推移しました。当四半期連結会計期間からは、持分の取得により子会社となった海南江守置基医薬有限公司が、「薬品経営品質管理規範認証証書」等のライセンスを活用して、中国の製薬メーカーに対して原薬の販売を開始しております。

日本国内では、消費税増税前の駆け込み需要から自動車関連資材の販売が好調に推移したほか、住宅関連資材についても活発な受注がありました。また、個人消費の改善を受けて、アミューズメント業界向けの案件が業績に寄与いたしました。

② 情報機器

当第3四半期連結累計期間の売上高は30億89百万円（同18.9%減）、セグメント利益（営業利益）は4億59百万円（同18.6%増）となりました。

国内のソフトウェア投資が緩やかに回復しつつある状況を受けて、相対的に利益率の高いシステム開発案件の受注も増加しつつあり、当該案件を検収に結びつけた結果、増益となりました。

③ 機械設備

当第3四半期連結累計期間の売上高は5億99百万円（同52.4%増）、セグメント利益（営業利益）は21百万円（前年同四半期はセグメント損失3百万円）となりました。

上半期においては、厳しい受注状況が続きましたが、下半期に入り国内景気の回復を受けて引き合いが活発化したことに加え、主要顧客の案件で12月に検収を迎えたものが多かったことから、増収増益となりました。

④ その他

当第3四半期連結累計期間の売上高は16億58百万円（同22.9%増）、セグメント利益（営業利益）は16百万円（同194.4%増）となりました。

移動体通信機器事業においてiPhoneの取り扱いを開始したことによる売上の増加や、ダストコントロール商品の販売及びリースにおける経費削減効果が業績に寄与し、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ136億57百万円増加し、853億22百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより126億70百万円増加しました。固定資産は、投資有価証券の増加などにより9億87百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ75億93百万円増加し、648億36百万円となりました。流動負債は、短期借入金及び1年以内返済予定の長期借入金の増加などにより96億54百万円増加しました。固定負債は、長期借入金の減少などにより20億60百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ60億64百万円増加し、204億85百万円となりました。

第2四半期連結会計期間に実施した公募増資及び第三者割当増資の結果、資本金及び資本剰余金が9億94百万円それぞれ増加しました。さらに利益剰余金が18億80百万円、その他有価証券評価差額金が9億51百万円、為替換算調整勘定が17億89百万円それぞれ増加した結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ5.0ポイント増加し24.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月31日の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項**当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

第1四半期連結会計期間より、江守商事（上海）化工有限公司を新たに設立したことにより、また、当第3四半期連結会計期間に瓊海置基医薬有限公司の持分を取得したことにより連結の範囲に含めております。なお、瓊海置基医薬有限公司は持分の取得後、商号を海南江守置基医薬有限公司に変更いたしました。

第1四半期連結会計期間においてTHAI USUI CO., LTD.の株式の一部を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,406,860	6,823,189
受取手形及び売掛金	※3 42,360,827	※3 57,664,914
たな卸資産	7,030,398	5,214,216
繰延税金資産	214,847	192,046
その他	5,433,308	5,213,400
貸倒引当金	△9,743	△699
流動資産合計	62,436,498	75,107,067
固定資産		
有形固定資産	4,481,262	3,740,320
無形固定資産		
のれん	78,460	59,722
その他	558,377	711,933
無形固定資産合計	636,838	771,656
投資その他の資産		
投資有価証券	3,807,685	5,384,429
繰延税金資産	58,179	45,172
その他	266,539	296,352
貸倒引当金	△22,579	△22,576
投資その他の資産合計	4,109,824	5,703,378
固定資産合計	9,227,926	10,215,354
資産合計	71,664,424	85,322,421

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 17,236,612	※3 18,860,589
短期借入金	24,556,242	26,994,173
1年内返済予定の長期借入金	1,051,038	5,917,725
未払法人税等	473,386	690,656
賞与引当金	274,234	253,535
その他	1,463,098	1,992,183
流動負債合計	45,054,611	54,708,862
固定負債		
長期借入金	10,942,633	8,084,787
繰延税金負債	1,014,011	1,708,523
再評価に係る繰延税金負債	68,730	167,964
退職給付引当金	40,096	38,351
役員退職慰労引当金	117,122	117,122
その他	6,384	11,264
固定負債合計	12,188,977	10,128,014
負債合計	57,243,588	64,836,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	799,320	1,794,281
資本剰余金	1,023,620	2,018,581
利益剰余金	9,968,903	11,849,116
自己株式	△1,809	△1,909
株主資本合計	11,790,034	15,660,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,315,059	2,266,908
繰延ヘッジ損益	124	6,365
土地再評価差額金	125,422	306,512
為替換算調整勘定	417,845	2,207,785
その他の包括利益累計額合計	1,858,452	4,787,571
少数株主持分	772,348	37,902
純資産合計	14,420,835	20,485,545
負債純資産合計	71,664,424	85,322,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	101,443,751	150,031,859
売上原価	95,313,201	141,061,389
売上総利益	6,130,549	8,970,470
販売費及び一般管理費	3,970,788	4,908,414
営業利益	2,159,760	4,062,056
営業外収益		
受取利息	68,820	151,281
受取配当金	69,482	89,484
持分法による投資利益	5,350	10,284
為替差益	—	271,523
補助金収入	141,746	165,119
その他	61,831	59,151
営業外収益合計	347,232	746,845
営業外費用		
支払利息	294,914	618,147
為替差損	92,346	—
株式交付費	—	18,043
その他	59,664	154,827
営業外費用合計	446,924	791,018
経常利益	2,060,068	4,017,883
特別利益		
固定資産売却益	1,348	882
投資有価証券売却益	—	73
関係会社株式売却益	—	33,251
特別利益合計	1,348	34,208
特別損失		
災害による損失	11,772	—
固定資産処分損	14,370	54,498
投資有価証券評価損	999	841
出資金評価損	3,548	—
その他	—	70
特別損失合計	30,690	55,410
税金等調整前四半期純利益	2,030,725	3,996,680
法人税、住民税及び事業税	646,421	1,108,589
法人税等調整額	118,937	292,552
法人税等合計	765,359	1,401,142
少数株主損益調整前四半期純利益	1,265,366	2,595,538
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△17,990	5,314
四半期純利益	1,283,356	2,590,224

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,265,366	2,595,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,452	951,848
繰延ヘッジ損益	7,503	6,240
為替換算調整勘定	△121,413	1,835,856
持分法適用会社に対する持分相当額	2,199	9,702
その他の包括利益合計	△167,163	2,803,648
四半期包括利益	1,098,203	5,399,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,100,455	5,338,253
少数株主に係る四半期包括利益	△2,252	60,932

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第2四半期連結会計期間において公募増資及び第三者割当増資を実施いたしました。

この結果、第2四半期連結会計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ994,961千円増加し、資本金が1,794,281千円、資本剰余金が2,018,581千円となりました。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>95,889,685</u>	3,810,256	393,728	<u>100,093,670</u>	1,350,080	<u>101,443,751</u>	—	<u>101,443,751</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	14,839	204,993	160,431	380,265	164,506	544,772	△544,772	—
計	<u>95,904,525</u>	4,015,250	554,160	<u>100,473,936</u>	1,514,586	<u>101,988,523</u>	△544,772	<u>101,443,751</u>
セグメント利益 又は損失(△)	<u>2,500,539</u>	387,526	△3,753	<u>2,884,312</u>	5,444	<u>2,889,756</u>	△729,995	<u>2,159,760</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△729,995千円には、セグメント間取引消去28,306千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△758,301千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>144,683,342</u>	3,089,860	599,948	<u>148,373,152</u>	1,658,707	<u>150,031,859</u>	—	<u>150,031,859</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	6,188	213,160	27,032	246,381	160,524	406,905	△406,905	—
計	<u>144,689,530</u>	3,303,021	626,981	<u>148,619,533</u>	1,819,231	<u>150,438,765</u>	△406,905	<u>150,031,859</u>
セグメント利益	<u>4,427,185</u>	459,580	21,541	<u>4,908,307</u>	16,027	<u>4,924,335</u>	△862,278	<u>4,062,056</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、メディア開発事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△862,278千円には、セグメント間取引消去31,647千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△893,926千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【訂正前】



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 江守グループホールディングス株式会社
 コード番号 9963 URL <http://www.emori.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 清隆
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役グループ管理部門担当 (氏名) 揚原 安麿 TEL 0776-36-1133
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	157,549	50.4	4,189	89.3	4,017	95.0	2,590	101.8
25年3月期第3四半期	104,739	21.4	2,213	7.4	2,060	9.1	1,283	14.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 5,399百万円 (391.6%) 25年3月期第3四半期 1,098百万円 (131.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	229.74	—
25年3月期第3四半期	122.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	85,322	20,485	24.0
25年3月期	71,664	14,420	19.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 20,447百万円 25年3月期 13,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	17.00	—	21.00	38.00
26年3月期	—	20.00	—		
26年3月期(予想)				28.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	41.7	5,600	74.5	5,080	69.0	3,200	66.7	277.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 2社 （社名）江守商事（上海）化工有限公司、海南江守置基医薬有限公司
除外 1社 （社名）THAI USUI CO., LTD.

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	12,340,000株	25年3月期	10,500,000株
26年3月期3Q	8,232株	25年3月期	8,163株
26年3月期3Q	11,274,624株	25年3月期3Q	10,491,847株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府及び日銀による経済・金融政策への期待感から円安や株高が先行する状況が続きましたが、その後、設備投資や個人消費にも改善が見られるなど、景気が緩やかに回復する動きが見られました。一方、海外においては、新興国経済の鈍化や欧州債務問題などがあるものの、米国が回復基調にあり、中国も安定成長に移りつつあるなど、全体的には緩やかな回復傾向をたどりました。

このような状況の中、当社の主要報告セグメントである「ケミカル」セグメントでは、中国市場における食糧、金属資源の売上が引き続き連結業績を大きく牽引したほか、化学品の売上も堅調に推移した結果、大幅な増収増益となりました。「情報機器」セグメントでは、前年同四半期のようなスポットの大型ハードウェアの納入がなかったことから、減収とはなったものの、情報投資の回復を受けて相対的に利益率の高いシステム開発案件の引き合いが活発化し、検収に繋がったことから、情報セグメント全体としては増益となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,575億49百万円（前年同四半期比50.4%増）、営業利益は41億89百万円（同89.3%増）、経常利益は40億17百万円（同95.0%増）、四半期純利益は25億90百万円（同101.8%増）となり、当第3四半期連結累計期間終了時点で、昨年度の通期連結業績を上回る結果となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① ケミカル

当第3四半期連結累計期間の売上高は1,522億円（同53.5%増）、セグメント利益（営業利益）は45億54百万円（同78.3%増）となりました。

中国の内需関連では、トウモロコシやアルコール、高級米など、食糧の売上が大幅に増加したほか、中国の旺盛な公共投資需要を受けて、シンガポール子会社を中継したクロム、銅、アルミニウム、精製鉄粉といった金属資源の売上も、上半期同様好調に推移しました。また、トルエンやアセトンといった化学品の売上も堅調に推移しました。当四半期連結会計期間からは、持分の取得により子会社となった海南江守置基医薬有限公司が、「薬品経営品質管理規範認証証書」等のライセンスを活用して、中国の製薬メーカーに対して原薬の販売を開始しております。

日本国内では、消費税増税前の駆け込み需要から自動車関連資材の販売が好調に推移したほか、住宅関連資材についても活発な受注がありました。また、個人消費の改善を受けて、アミューズメント業界向けの案件が業績に寄与いたしました。

② 情報機器

当第3四半期連結累計期間の売上高は30億89百万円（同18.9%減）、セグメント利益（営業利益）は4億59百万円（同18.6%増）となりました。

国内のソフトウェア投資が緩やかに回復しつつある状況を受けて、相対的に利益率の高いシステム開発案件の受注も増加しつつあり、当該案件を検収に結びつけた結果、増益となりました。

③ 機械設備

当第3四半期連結累計期間の売上高は5億99百万円（同52.4%増）、セグメント利益（営業利益）は21百万円（前年同四半期はセグメント損失3百万円）となりました。

上半期においては、厳しい受注状況が続きましたが、下半期に入り国内景気の回復を受けて引き合いが活発化したことに加え、主要顧客の案件で12月に検収を迎えたものが多かったことから、増収増益となりました。

④ その他

当第3四半期連結累計期間の売上高は16億58百万円（同22.9%増）、セグメント利益（営業利益）は16百万円（同194.4%増）となりました。

移動体通信機器事業においてiPhoneの取り扱いを開始したことによる売上の増加や、ダストコントロール商品の販売及びリースにおける経費削減効果が業績に寄与し、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ136億57百万円増加し、853億22百万円となりました。流動資産は、受取手形及び売掛金の増加などにより126億70百万円増加しました。固定資産は、投資有価証券の増加などにより9億87百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ75億93百万円増加し、648億36百万円となりました。流動負債は、短期借入金及び1年以内返済予定の長期借入金の増加などにより96億54百万円増加しました。固定負債は、長期借入金の減少などにより20億60百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ60億64百万円増加し、204億85百万円となりました。

第2四半期連結会計期間に実施した公募増資及び第三者割当増資の結果、資本金及び資本剰余金が9億94百万円それぞれ増加しました。さらに利益剰余金が18億80百万円、その他有価証券評価差額金が9億51百万円、為替換算調整勘定が17億89百万円それぞれ増加した結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ5.0ポイント増加し24.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年10月31日の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項**当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動**

第1四半期連結会計期間より、江守商事（上海）化工有限公司を新たに設立したことにより、また、当第3四半期連結会計期間に瓊海置基医薬有限公司の持分を取得したことにより連結の範囲に含めております。なお、瓊海置基医薬有限公司は持分の取得後、商号を海南江守置基医薬有限公司に変更いたしました。

第1四半期連結会計期間においてTHAI USUI CO., LTD.の株式の一部を譲渡したため、連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,406,860	6,823,189
受取手形及び売掛金	※3 43,281,528	※3 60,100,279
たな卸資産	7,030,398	5,214,216
繰延税金資産	214,847	192,046
その他	4,512,606	2,778,035
貸倒引当金	△9,743	△699
流動資産合計	62,436,498	75,107,067
固定資産		
有形固定資産	4,481,262	3,740,320
無形固定資産		
のれん	78,460	59,722
その他	558,377	711,933
無形固定資産合計	636,838	771,656
投資その他の資産		
投資有価証券	3,807,685	5,384,429
繰延税金資産	58,179	45,172
その他	266,539	296,352
貸倒引当金	△22,579	△22,576
投資その他の資産合計	4,109,824	5,703,378
固定資産合計	9,227,926	10,215,354
資産合計	71,664,424	85,322,421

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	※3 17,236,612	※3 18,860,589
短期借入金	24,556,242	26,994,173
1年内返済予定の長期借入金	1,051,038	5,917,725
未払法人税等	473,386	690,656
賞与引当金	274,234	253,535
その他	1,463,098	1,992,183
流動負債合計	45,054,611	54,708,862
固定負債		
長期借入金	10,942,633	8,084,787
繰延税金負債	1,014,011	1,708,523
再評価に係る繰延税金負債	68,730	167,964
退職給付引当金	40,096	38,351
役員退職慰労引当金	117,122	117,122
その他	6,384	11,264
固定負債合計	12,188,977	10,128,014
負債合計	57,243,588	64,836,876
純資産の部		
株主資本		
資本金	799,320	1,794,281
資本剰余金	1,023,620	2,018,581
利益剰余金	9,968,903	11,849,116
自己株式	△1,809	△1,909
株主資本合計	11,790,034	15,660,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,315,059	2,266,908
繰延ヘッジ損益	124	6,365
土地再評価差額金	125,422	306,512
為替換算調整勘定	417,845	2,207,785
その他の包括利益累計額合計	1,858,452	4,787,571
少数株主持分	772,348	37,902
純資産合計	14,420,835	20,485,545
負債純資産合計	71,664,424	85,322,421

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	104,739,865	157,549,503
売上原価	98,555,480	148,451,604
売上総利益	6,184,385	9,097,898
販売費及び一般管理費	3,970,788	4,908,414
営業利益	2,213,597	4,189,484
営業外収益		
受取利息	14,984	23,852
受取配当金	69,482	89,484
持分法による投資利益	5,350	10,284
為替差益	—	271,523
補助金収入	141,746	165,119
その他	61,831	59,151
営業外収益合計	293,395	619,417
営業外費用		
支払利息	294,914	618,147
為替差損	92,346	—
株式交付費	—	18,043
その他	59,664	154,827
営業外費用合計	446,924	791,018
経常利益	2,060,068	4,017,883
特別利益		
固定資産売却益	1,348	882
投資有価証券売却益	—	73
関係会社株式売却益	—	33,251
特別利益合計	1,348	34,208
特別損失		
災害による損失	11,772	—
固定資産処分損	14,370	54,498
投資有価証券評価損	999	841
出資金評価損	3,548	—
その他	—	70
特別損失合計	30,690	55,410
税金等調整前四半期純利益	2,030,725	3,996,680
法人税、住民税及び事業税	646,421	1,108,589
法人税等調整額	118,937	292,552
法人税等合計	765,359	1,401,142
少数株主損益調整前四半期純利益	1,265,366	2,595,538
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△17,990	5,314
四半期純利益	1,283,356	2,590,224

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,265,366	2,595,538
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,452	951,848
繰延ヘッジ損益	7,503	6,240
為替換算調整勘定	△121,413	1,835,856
持分法適用会社に対する持分相当額	2,199	9,702
その他の包括利益合計	△167,163	2,803,648
四半期包括利益	1,098,203	5,399,186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,100,455	5,338,253
少数株主に係る四半期包括利益	△2,252	60,932

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第2四半期連結会計期間において公募増資及び第三者割当増資を実施いたしました。

この結果、第2四半期連結会計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ994,961千円増加し、資本金が1,794,281千円、資本剰余金が2,018,581千円となりました。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>99,185,799</u>	3,810,256	393,728	<u>103,389,785</u>	1,350,080	<u>104,739,865</u>	—	<u>104,739,865</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	14,839	204,993	160,431	380,265	164,506	544,772	△544,772	—
計	<u>99,200,639</u>	4,015,250	554,160	<u>103,770,050</u>	1,514,586	<u>105,284,637</u>	△544,772	<u>104,739,865</u>
セグメント利益 又は損失(△)	<u>2,554,375</u>	387,526	△3,753	<u>2,938,148</u>	5,444	<u>2,943,592</u>	△729,995	<u>2,213,597</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△729,995千円には、セグメント間取引消去28,306千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△758,301千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ケミカル	情報機器	機械設備	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	<u>152,200,986</u>	3,089,860	599,948	<u>155,890,796</u>	1,658,707	<u>157,549,503</u>	—	<u>157,549,503</u>
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	6,188	213,160	27,032	246,381	160,524	406,905	△406,905	—
計	<u>152,207,174</u>	3,303,021	626,981	<u>156,137,177</u>	1,819,231	<u>157,956,409</u>	△406,905	<u>157,549,503</u>
セグメント利益	<u>4,554,613</u>	459,580	21,541	<u>5,035,735</u>	16,027	<u>5,051,763</u>	△862,278	<u>4,189,484</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、移動体通信機器事業、ダストコントロール商品の販売及びリース事業、保険サービス事業、メディア開発事業、配送及び倉庫事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△862,278千円には、セグメント間取引消去31,647千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△893,926千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。